

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年9月2日② NO.10



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇ 1学期児童によるアンケート ◇

1学期全校児童対象にアンケートをとりました。結果概略をお知らせします。

先生に対する項目	評価		
① 先生はわかるまで教えてくれる	98%		
② 先生はあなたの話を聞いてくれる	95%		
③ 先生はほめたり励ましたりしてくれる	86%		
自分のふり返りの項目	評価		
① 暗唱は自分の学習に役立っている	97%	⑥ 学校の宿題をしている	93%
② エンジョイコミュニケーションで英語を楽しく使っている	96%	⑦ 決められた時間家庭学習をする	92%
③ 友達と仲良くしている	94%	⑧ 対話のきせつ・・・わかりやすく説明	91%
④ 対話のきせつ・・・話を聞いたり反応	94%	⑨ 学校や地域で元気にあいさつ	88%
⑤ ICTを使って考え説明できる	92%	⑩ 授業で自分の意見を発表する	83%

今年度の学校のスローガンは、【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】です。

先生方には、スローガンのもとしっかりと粟ノ保っ子に向き合ってもらいました。先生方に対する信頼が高いことが何よりです。今後も100%めざしていきます。

※授業は自分の考えを深める場です。新規「対話のきせつ」に取組中です。④⑤⑧⑩
学び方を子ども達と共有しています。番号は上記項目についてです。

※①粟ノ保校長検定です。新規に5・6年は「英語」に特化しました。4年以下も英語を増やしています。2学期も継続します。

◇ 1学期本校教職員による自己評価 ◇ 結果概略をお知らせします。

確かな学力・豊かな心・健やかな体にかかわる項目 (◎成果 ▲課題)
◎「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に努めている
◎朝自習や粟ノ保タイムや暗唱活動の指導に継続的・計画的に取り組んでいる
◎ICT教育に計画的に取り組んでいる
◎クロムブック(タブレット端末)を活用した指導に積極的・計画的に取り組んでいる
◎児童の人間関係づくりの充実を図り、いじめや不登校の未然防止に取り組んでいる
◎「チャレンジカード」「体力アップ」「スポチャレいしかわ」に計画的に取り組んでいる
▲保護者と連携し宿題等の充実に積極的に取り組んでいる。
▲「考え、議論する道徳」の授業づくりに努めている

※概ね全ての項目でプラスの評価の割合が高くなっています。

※【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】2学期も児童の表現力育成に重点をおいて指導していきます。

裏面あります

◇夏休み作品展◇

子ども達が、夏休みに仕上げた工作などを手にして登校してきました。「何を作ってきたのかな？」と聞くと、笑顔を見せてうれしそうに話をしてくれました。きっと楽しみながら集中して作品を仕上げていたんだろうと想像できる作品が展示されています。



◇校長の雑感◇

2学期は、学習、運動に適した季節です。学校でもたくさんの行事を計画しています。どの子も『のびる2学期』にしたいです。保護者の皆様も同感でしょう。学校と家庭が同じ方向を向いてこそ、子どもたちはのびると思っています。

学力向上の決め手はズバリ「家庭学習」!

■ **よい習慣が、よい結果を招く。**これは、子どもにも保護者にも通じます。

■ (よい) 習慣とは、同じ事の繰り返しによって定着させる。

【子どもの場合】

- ・ 学ぶ力が付く⇒学力
- ・ 勉強ぐせが付く⇒学習習慣
- ・ 勉強の要領が身に付く⇒見直す力
- ・ 時間を効率よく使う⇒自己管理能力
- ・ 学びに向かう力が付く⇒勉強好き

【保護者の場合】

- ・ 毎日の生活リズム (食事、睡眠)
- ・ 家族のコミュニケーションのきっかけ
- ・ 子どもの学習の様子を把握
- ・ リビングでの学び等 (安心感、聞ける)
- ・ 「へえー、自分から勉強、偉いね」(声かけ)
- ・ 「大丈夫」「すごいね」(褒める)(声かけ)

■家庭学習の重要性

- ・ 家庭学習は、自分から学ぶ第一歩 (主体性・自主性)
- ・ 特に低学年は、毎日の学習量があるまま反映されると思われる
- ・ 復習することで授業の内容を定着させることができる
- ・ 毎日の学習⇒テストでよい結果⇒自信・意欲・チャレンジ精神
- ・ 学習習慣が身につけば、学習時間を確保できる (1学期保護者評価④: 向上が期待できる)

